

令和2年度 公益財団法人ひばり事業報告書

令和2年4月1日～令和3年3月31日まで

1 総括

- ① 公益財団法人として法令遵守の徹底と社会的使命の役割・責任を自覚し、公益・収益の事業バランスを図り事業推進に取り組むとともに、高島市の施設を管理運営する指定管理者として、施設の有効活用と利用者へのサービス向上に努めた。
- ② 春の大型連休前に発令された緊急事態宣言を受け、市の要請により4月20日から5月31日まで全施設が休業となった。
- ③ 夏以降はGoTo トラベル事業の利用者が増加し売上の回復も見られたが、学校の夏休み期間の短縮や繁忙期における団体のキャンセルが大きく作用し、全体として売上は大幅な減少となった。
- ④ 経営面では年度当初はかなり厳しい予測を立てていたが、経費削減の徹底と行政機関の支援策により、正味財産を減らさず乗り切ることができた。
- ⑤ 新型コロナウイルス感染防止対策に関しては、行政機関からの指導を基に徹底した対策を講じて各施設営業を行った。

(1) 高島市今津総合運動公園

- ① 新型コロナウイルス感染拡大により、高校・大学の宿泊を伴った団体利用は軒並みキャンセルとなり、例年開催されている大会も中止や規模縮小で来園者数、施設利用収入ともに前年度比5割減となったが、市内利用者が大半を占める温水プールにおいては、利用者数、利用収入ともに同2割減に留まった。
- ② 新型コロナウイルス感染防止対策として、アルコール消毒液の設置とマスク着用やソーシャルディスタンスの呼びかけを徹底し、温水プールにおいては入館時に検温を実施した。
- ③ 7月1日から第4グラウンドが供用開始となり、3月までの9ヶ月間で26団体、延べ5,072名が利用された。
- ④ 高島市においては、スタジアムのスコアボードを中心とした大規模改修をはじめ、温水プールのガス配管・水質監視装置の修繕、サンルーフ照明器具のLED化、スタジアム外野芝生の三連芝刈り機の更新を行って頂いた。

(2) 家族旅行村ピラデスト今津

- ① 新型コロナウイルス感染症の影響により、大学生やスポーツ少年団等の団体合宿の予約は全てキャンセルとなった。
- ② 施設の営業が再開された6月以降はキャンプ場の利用客が増え、毎週末多くのキャンパーで賑わった。
- ③ 7月22日から開始されたGoToトラベル事業により、宿泊施設の利用も徐々に回復し、滋賀県の補助事業「滋賀を旅しよう」との相乗効果もあって、9月の連休は多くの宿泊者で活気が戻った。
- ④ 10月以降の旅行には「地域共通クーポン券」が付与され、コテージや森の交流館の利用も増加した。

(3) 体験交流センターゆめの

- ① 新型コロナウイルス感染拡大による休業要請に加え、運動公園利用団体のキャンセル、大会の中止等の影響により売上は大きく減少した。
- ② レストラン営業再開にあたっては、アルコール消毒や密集を避けるため席数を減らす等感染防止対策を徹底した。
- ③ 運動公園利用者の減少を受け、6月は予約のみの営業とし、7月以降平日は予約営業、土日祝日は通常営業とした。
- ④ 9月以降はGoToトラベル事業効果もあって、徐々にお客様が戻りはじめ9月の4連休は満席になる日もあった。
- ⑤ 高島市において、館内1階の各トイレを洋式に改修して頂いた。

2 健康づくり・スポーツ振興事業（公益目的事業1）

- ① 各スポーツ団体が示す感染予防ガイドラインを遵守し、対策を徹底した上で各種教室を開催した。
- ② 自主事業への参加者については、高島市社会体育施設における感染防止対策に則り、検温による健康管理をお願いした。
- ③ 緊急事態宣言の休園期間を利用し、プール担当職員を対象に専門分野のスキルアップ研修を行った。
- ④ 高齢者に対して、コロナ禍での外出自粛による健康二次被害防止のための運動の啓発

を行った。

(1) スクール・教室開催事業

スイミングスクール

- ① 新型コロナウイルス感染防止対策として、水泳指導者用のマスクを着用して指導を行った。
- ② スイミングスクール等各教室においては、新型コロナウイルスの影響は少なく、例年並みに近い参加者があった。
- ③ 市内小学校では全ての水泳の授業が中止となったことにより、当法人の指導員派遣による学校水泳教室も中止となった。
- ④ 滋賀県水泳競技選手権大会チャンピオンシップ女子の部で受講生が自由形(100m・200m・400m・800m)で優勝し、その他多種目でも3位以内と活躍した。また、全国ジュニアオリンピックカップ水泳競技大会(春季・夏季)の出場権を獲得したが、新型コロナウイルスの影響で大会は中止となった。
- ⑤ SNSで情報発信して開催した無料体験教室は多くの子どもが参加した。

コース	対象	実施回数	延べ参加人数
幼児	4歳～年長児	361回	2,015名
ジュニア	年長児～中学生	568回	8,411名
成人	18歳以上	234回	1,548名
競泳	小中学生	254回	2,869名
プライベート	小学生以上	14回	14名
グループ		2回	4名

テニススクール

- ① 本年9月で開講15周年を迎えた「テニススクール」は、新しい指導スタッフがアシスタントとして加わり指導力向上を図った。
- ② 受講生が県大会で優勝し、全国選抜高校テニス選手権に出場した。

コース	対象	実施回数	延べ参加人数
シニア	65歳以上	88回	176名
平日初級	18歳以上	44回	66名
土曜日		132回	715名
ナイター			
ショート	6歳～8歳	44回	132名
ミディ	8歳～11歳	44回	398名
ジュニア	11歳～15歳	132回	616名
選手	10歳～18歳	195回	780名
プライベート	全ての方	2回	2名
グループ	全ての方	27回	135名

艇庫・その他事業

- ① 艇庫活動は、新型コロナウイルス感染防止対策の密集・密接が避けられないと判断し、今期は全面休止とした。
- ② トライアスロン教室は受講生が県内各地から集まり、日本U19トライアスロン選手権兼高校選手権に出場するなどレベルが向上している。
- ③ 市内小学校を対象に水辺の安全啓発事業として、着衣泳体験教室を実施した。
- ④ 一般社団法人日本スイミングクラブ協会泳力認定資格級に多くの方が合格され、今年度においても全国優秀クラブ賞を受賞した。
- ⑤ 市小体連主催の水泳記録大会の中止を受け、市教育委員会の後援で個別測定による水泳記録会を開催した。

事業名	対象	実施回数	延べ参加人数
トライアスロン	小学生	136回	876名
着衣泳	市内小学4～6年	2回	27名
泳力認定	25m泳げる方	8回	146名
水泳記録会	市内小学5～6年	1回	29名

(2) 健康づくり事業

- ① 本年度の高島市介護予防啓発事業は、新型コロナウイルスの影響により下半期からの

実施となったため、1期（12回）の開催となった。

- ② コロナ禍においてもアクアビクス教室は好評で、毎回20名を超える参加者があり使用するコースの幅を広くしたうえで、定期的な換気を行うなどの三密回避対策を講じて実施した。
- ③ 多様な水中運動を取り入れることで運動機能向上を目指す教室が好評で、多くの参加者が受講した。
- ④ 高齢者を対象にした自主事業では、免疫力向上に関する運動の紹介や食生活の改善等の講話を行った。
- ⑤ コロナ禍において健康への意識が高まった方が多く、温水プールやマシンルームを利用される新規の一般利用者が増加した。

事業名	対象	実施回数	延べ参加人数
やさしいヨーガ	18歳以上	44回	282名
太極拳		34回	128名
トレーニング講習会		随時	44名
健康体操		29回	60名
水中歩行		38回	262名
アクアビクス		80回	1,161名
プールで元氣運動		38回	354名
アクアエクササイズ		12回	117名
いきいきトレーニング倶楽部	60歳以上	23回	167名

(3) 大会・イベント等開催事業

- ① グラウンドゴルフ月例会は休業のため4・5月大会は中止とし、6月大会は市内在住者限定で実施した。7月以降は当初予定していた内容で開催し、8大会延べ828名の参加者となった。
- ② ゲートボール大会については、当初予定していた大会は一旦全て中止とし、感染状況が落ち着いた9月末に参加人数を半分に開催した。

事業名	対象	実施回数	延べ参加人数
グラウンドゴルフ月例会	18歳以上	8回	828名
ゲートボール大会		1回	102名

3 ふるさと・自然体験交流事業（公益目的事業2）

（1）自然体験・観察事業

- ① 当初予定していた体験事業が新型コロナウイルスの影響により中止とする中、毎年恒例となっている「星空観察会」「オオクワガタを育てよう」は回数を減らし開催した。
- ② スペースを拡張した体験型イベント「世界の昆虫展とカブトムシの里」は、カブトムシやクワガタ虫の手掴み体験や普段見られない外国産のカブトムシとの記念撮影が好評で、今年の2倍を超える多くの参加者で賑わった。
- ③ 毎年夏休みに実施している人気の宿泊型体験イベントは、感染防止対策の徹底が困難と判断し今年度は中止した。

事業名	対象	実施回数	延べ参加人数
星空観察会	全ての方	2回	92名
オオクワガタを育てよう		2回	99名
世界の昆虫展とカブトムシの里		22回	1,186名

（2）ふるさと体験等レクリエーション事業

- ① ビラデスト今津では、毎年人気の調理体験（カレー作り・BBQ）やキャンプファイヤーは団体客の来村がなく開催できなかった。
- ② 森の交流館の広場には、利用者の要望に応え新たに木製ブランコと滑り台を設置した。
- ③ 「そば打ち体験」については、引き続き滋賀県が情報発信している「しがこども体験学校」や、観光協会が発行する公式ガイドブックに掲載依頼した。また、本年度より開始したインターネット予約（じゃらん）からの申し込みが増えてきた。
- ④ もろこ釣り体験および関連大会については、感染防止対策（密接）の徹底が難しいこともあり今年度は中止した。

事業名	対象	実施回数	延べ参加人数
春山開き	全ての方	1回	15名
木工体験		随時	536名
はんごう炊爨		3回	70名

事業名	対象	実施回数	延べ参加人数
ウォーターバトル体験	全ての方	3回	26名
絶叫ブランコ・絶景遊歩道		随時	9,930名
そば打ち体験		随時	405名

4 施設利用者への利便提供事業（収益事業）

（1）運動公園・ゆめの

- ① 「レストランひだまり」は、運動公園利用者の減少に伴い売上は大きく減少したが、テイクアウトできるお弁当の注文は昨年並みに頂いた。
- ② びわこビジターズビューロが行っている「観光周遊促進プラン」や、高島市商工会が発行している「おもてなしパスポートラリー」に参加した。
- ③ ゆめの売店では地域特産品振興の取り組みとして、地元で取れた野菜等を販売した。

（2）家族旅行村ピラデスト今津

- ① 「レストハウス赤坂平・BBQ 館」では GoTo トラベル事業を利用したお客様も多く、週末や連休には賑わいが戻った。
- ② キャンプ利用者の増加に合わせ、レンタル用品の品ぞろえを充実させた。
- ③ 高島市が配布した地域通貨「アイカ」を利用して頂くため「市民限定コテージ BBQ プラン」を販売した。

（3）箱館そば鳴野

- ① 新型コロナウイルス感染防止対策として、客席の減数や並ばれる方の密集を避けるための「呼び出しシステム」を導入するとともに、入店時にはアルコール消毒のお願いと検温を実施した。
- ② 自宅で「箱館そば」を楽しんでもらえるように宅配サービスを行った。
- ③ コロナ禍での外出自粛と年末の大雪により「年越しそば（生そば）」の販売が不調だったが、全体として大きな売り上げ減少には至らず3ヶ月間の営業を終えることができた。